

校舎改築情報第5号（令和7年3月19日）

《旧校舎解体工事の最新の様子（写真3枚）》

1枚目の写真は旧校舎の正門付近から、2枚目の写真は旧校舎の体育館付近から、それぞれ南方向の様子を撮影したものです。3枚目の写真は仮設校舎3階から北方向の様子を撮影したものです。旧校舎の建物はほとんど姿を消し、仮設校舎がはっきりと見えています。その手前では、解体工事で発生したガレキを、ダンプカーに積み込んで、搬出する作業をしています。





《新校舎建設に向けて》

解体工事と並行して、新校舎建設に向けての検討も行っています。八王子盲学校の新校舎（令和10年4月完成予定）が視覚障害者にとって学びやすい環境となるよう、保護者や教職員からいただいた貴重な意見が反映できるように努めていきます。以下、主な意見をいくつかあげます。

- ・生活時程が学部で異なるため、チャイムなど階ごとに設定ができるとよい。
- ・階段や廊下等の照明スイッチが、全盲者にもオンオフがわかるような仕様が必要。
- ・校内壁面等の色は弱視者に配慮した、まぶしさのない配色、また、壁と扉の識別ができる配色が必要。
- ・プールは屋根の設置もしくはそれに代わる日除け対策が必要。
- ・新校舎は回遊式の廊下となるので、全盲者が手すりを触れば東西南北がわかる構造がよい。
- ・保護者送迎車両用スペースを確保してほしい。